ハイブリッド基金の
山形トヨペット

エコアクション21
環境経営レポート

-2022年4月～2023年3月-

作成日：2023年6月30日

目　次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

基本要件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

●山形トヨペットについて

事業活動概要 ・・・・・・・・・・・・・・・　5
環境管理実施体制 ・・・・・・・・・・・・・　6
環境経営システム 役割・責任・権限表　・　7

●環境活動

1.環境経営目標 -2022年度の目標と実績・評価-　8
2.環境活動計画 ・・・・・・・・・・・・・・　9
3.2022年度評価内容と次年度の取り組み ・10
4.環境関連法規等の遵守状況・・・・・・・12
5.環境コミュニケーション記録・・・・・・14
6.代表者による全体評価と見直し・・・・・18
7.中期計画に基づいた2023年度の
　環境経営目標と環境経営計画・・・・・・19

はじめに

世界経済フォーラムが毎年発表する「世界のリスク」は、気候変動リスクなどの環境問題が社会経済に極めて深刻な影響を及ぼすと警告しています。そしてパリ協定に象徴されるように、世界は持続可能な社会の構築を目標に、社会経済システムの大転換を決意し着実に取り組んでいます。

こうした状況の中、環境マネジメントシステム(EMS²)の期待は、紙・ごみ・電気などの環境負荷の削減といった限定的な環境への取り組みを管理する手法から、本業を通じた環境への取り組みにより、事業者自らと社会の持続的な成長を実現する環境経営を推進する手法へと変化しています。

当社は2016年４月にエコアクション21認証を取得し、事業活動に伴う環境負荷の低減に努めるとともに、事業を通じた環境貢献の取り組みに力を入れてきました。当社の事業活動は環境問題と密接に関わっており、グリーンキャンペーンやハイブリッド基金といった環境貢献活動を行っている企業の社員として環境問題解決に積極的に取り組む事が責務であると考えています。エコアクション21の取り組みも7年が経過し、拠店訪問による状況確認を行う中でエコアクションに対する意識の高まりを年々感じております。

2021年度からの取組みとしてEA21環境事務局では、事務局員とマネージャーが他店舗へ赴く「拠店監査クロスチェック」を行っております。これは他店での管理の仕方や、役割分担など店舗間での情報共有に役立ち、社内でのセルフチェックを行いやすい仕組みとなっております。

近年ではＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）という言葉が生まれ、国や政府だけでなく我々のような企業でも「ＳＤＧｓにどう取り組んでいくのか」考える時期になってきたと言えます。 社員一人ひとりが「ＳＤＧｓ」に代表される環境活動に意識を向け、エコアクションについても自分事として捉えて、意識しながら働けるよう継続的な意識向上に努めてまいります。

山形トヨペット株式会社
エコアクション２１環境事務局

基本要件

認証・登録範囲

認証・登録番号　　：0011214

認証・登録年月日　：2016年4月27日

更新・登録年月日　：2022年4月27日

認証・登録事業者名：山形トヨペット株式会社

対象範囲　　：山形トヨペット株式会社全組織および全活動

環境管理責任者

総務部長　　飯野　睦巳

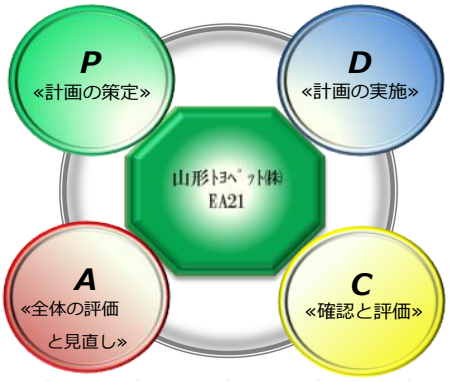
環境事務局

担当者　総務部　　佐藤　寿彦

　　総務部　　佐藤　秀人

連絡先　023-634-7501

URL　https://yamagata-toyopet.jp/



山形トヨペット株式会社
EA21 PDCA

環境活動レポートの対象期間と発行日

活動対象期間　　：2022年4月1日～2023年3月31日

発行日　　：2023年6月30日

編集方針

当社のエコアクション21活動報告である本レポートは、当社の活動実績を取引業者・お客様へと広い範囲で報告する情報開示ツールとして活用すると同時に、環境経営の改善・向上に向けて社員一人ひとりが環境活動の重要性を理解し、意識的に活動する事を目的として発行しています。

環境経営方針

＜基本理念＞

私たちは、「お客様に愛され、社員が恋する会社」をめざし、環境問題への対応を重要課題と位置づけ、自動車販売・自動車整備などのすべての事業活動を通じて、環境負荷の低減と社会貢献活動に継続的に取り組み改善します。

美しい地球を次世代に残すために、法令等を遵守し、廃棄物、リサイクル、省エネ問題を直視して環境経営の継続的改善を行い、持続的発展が可能な循環型社会の実現に貢献します。

＜行動指針＞

1.地球温暖化防止のため、二酸化炭素の削減に取り組みます

2.資源の有効利用のため、自ら排出する廃棄物の削減に取り組みます

3.水資源の有効利用のため、節水に取り組みます

4.化学物質の使用量削減に取り組みます

5.グリーン購入を推進します

6.環境関連法規等を遵守します

7.ハイブリッド基金をもとに地域の環境保全活動を支援していきます

8.エコカーの更なる普及に努め、環境にやさしい会社を目指します

9.リサイクル部品の使用を推進します

10.環境保全に繋がる保険商品やサービスの提供を行います

制定日：2022年7月1日

山形トヨペット株式会社

代表取締役社長

鈴木　政康

ハイブリッド基金の 山形トヨペットについて

事業活動概要

名称	山形トヨペット株式会社
本社所在地	山形県山形市飯田西五丁目5番2号
代表者名	代表取締役社長　鈴木　政康
設立	昭和31年8月
資本金	8,000万円
売上高	138億7,700万円(令和4年3月期)
従業員数	296名（令和5年3月1日現在）
事業内容	新車販売、中古車販売・買取、自動車整備・自動車部品用品販売 各種損害保険代理店業務、情報通信機器販売 生命保険の募集に関する業務

主要販売実績	新車販売	3,009台（除軽）
	中古車販売	1,074台
	車検整備台数	13,219台

店舗

＜トヨタ事業＞

・本社店　・東バイパス店　・西バイパス店
・天童店　・寒河江店　・村山店
・新庄店　・酒田中央店　・鶴岡店
・米沢店　・南陽店　・長井店

＜レクサス事業＞

・レクサス山形

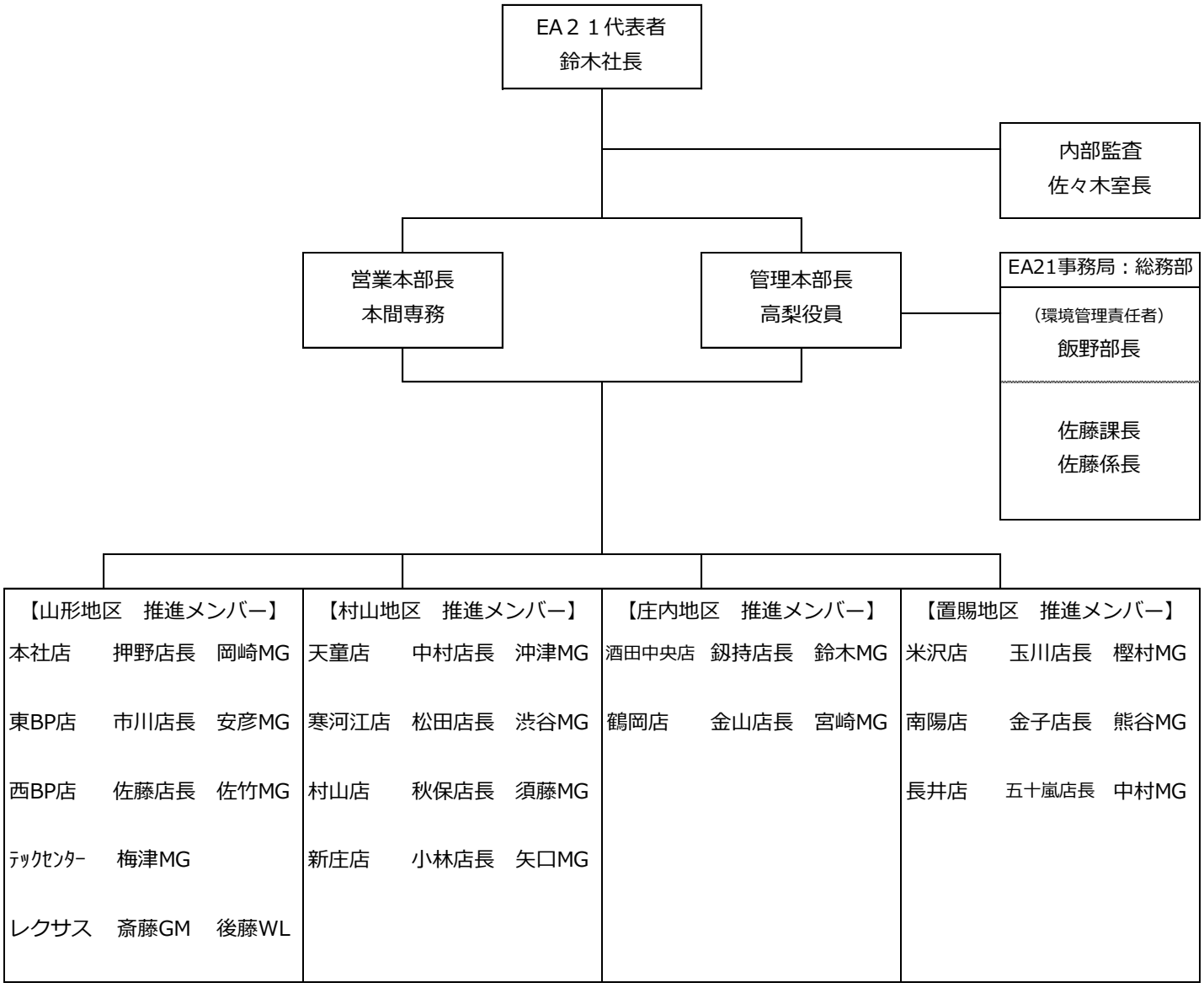
関連会社　仙山テクノクラフト株式会社

天童工場　米沢工場　庄内工場

山形トヨペット株式会社

作成者：EA２１事務局
作成日：平成30年1月12日
改訂日：令和5年4月1日

山形トヨペットEA２１組織図



作成者：EA２１事務局
作成日：平成26年12月 8日
更新日：令和 3年 6月22日

環境経営システム　役割・責任・権限表

担　　当	役　割　・　責　任　・　権　限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・実施体制を構築する ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施し、必要な指示を行う ・環境活動レポートの承認 ・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
内部監査：CSR推進事務局	・定期委員会の開催（監査結果のヒアリング） ・改善が必要な事項に対する是正指導及び、改善の確認 ・監査結果及び是正措置等の代表者への報告 ・内部監査計画の策定 ・内部監査を上記計画に沿って実施し、内部監査委員会に報告 ・内部監査の結果に基づき改善項目の進捗状況を確認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開（と地域事務局への送付）
部門長・店長・環境担当者	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練の実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・法令を遵守し、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境経営目標 - 2022年度の目標と実績・評価 -

環境経営目標は、2022年度から2024年度までの環境負荷を2021年度を基準として5%削減することを目標に活動していきます。実績と評価は下記の通りとなりました。

■環境目標の設定

環境目標項目	基準年数値（2021年度）	中長期目標（３年）			今年度数値目標
		2022年度目標（R4.4～R5.3）	2023年度目標（R5.4～R6.3）	2024年度目標（R6.4～R7.3）	取組期間（R4/4～R5/3月）
二酸化炭素排出量	2,385,111 Kg-CO2/年	2021年度(4月～3月)比2%削減	2021年度(4月～3月)比4%削減	2021年度(4月～3月)比5%削減	2,337,409 kg-co2/年
廃棄物排出量	597,556 Kg/年	2021年度(4月～3月)比2%削減	2021年度(4月～3月)比4%削減	2021年度(4月～3月)比5%削減	585,605 kg/年
水使用量	18,722 ㎥/年	2021年度(4月～3月)比2%削減	2021年度(4月～3月)比4%削減	2021年度(4月～3月)比5%削減	18,348 ㎥/年

■具体的な環境数値目標と実績・評価

評価の目安　○：目標値に対して100%以上　△：99～75%　×：74%以下

環境目標項目	基準年数値（2021年度の実績）	2022年度の目標値（　）は具体的削減数値	2022年度実績 下段は目標値との差	評価
二酸化炭素排出量（kg-CO2）	2,385,111 Kg-CO2/年	2,337,409 kg-co2/年 ▲ 47,702 kg-co2	2,202,306 kg-co2/年 ▲ 135,103 kg-co2/年	106.1% ○
購入電力（Kg-CO2）	1,193,559 Kg-CO2/年 「電力の排出係数 ： 0.523 kg-CO2/kWh」	1,169,688 kg-co2/年 ▲ 23,871 kg-co2	1,046,197 kg-co2/年 ▲ 123,491 kg-co2/年	111.8% ○
LPG使用量（Kg-CO2）	20,979 Kg-CO2/年	20,559 kg-co2/年 ▲ 420 kg-co2	37,358 kg-co2/年 ＋ 16,799 kg-co2/年	55.0% ×
ガソリン使用量（Kg-CO2）	925,081 Kg-CO2/年	906,579 kg-co2/年 ▲ 18,502 kg-co2	891,563 kg-co2/年 ▲ 15,016 kg-co2/年	101.7% ○
軽油使用量（Kg-CO2）	118,058 Kg-CO2/年	115,697 kg-co2/年 ▲ 2,361 kg-co2	116,853 kg-co2/年 ＋ 1,156 kg-co2/年	99.0% △
灯油使用量（Kg-CO2）	127,434 Kg-CO2/年	124,885 kg-co2/年 ▲ 2,549 kg-co2	110,334 kg-co2/年 ▲ 14,551 kg-co2/年	113.2% ○
一般廃棄物排出量（kg）	66,622 Kg/年	65,290 kg/年 ▲ 1,332 kg	60,256 kg/年 ▲ 5,034 kg	108.4% ○
産業廃棄物排出量（kg）	530,934 Kg/年	520,315 kg/年 ▲ 10,619 kg	496,067 kg/年 ▲ 24,248 kg	104.9% ○
水使用量（m³）	18,722 ㎥/年	18,348 ㎥/年 ▲ 374 ㎥	17,682 ㎥/年 ▲ 666 ㎥	103.8% ○

■環境活動目標

環境目標項目	2022年目標値	2022年度実績（R4/4～R5/3）	評価
グリーン購入の推進	事務用品購入金額の30%	31.0% 事務用品購入金額：　1,654,187円 内グリーン購入金額：　512,756円	○
ハイブリッド車の販売比率	35%	42.8% 新車販売台数（除軽）：　3,009台 内ハイブリッド台数：　1,287台	○
地域環境保全活動	・ハイブリッド基金 ・グリーンキャンペーン ・山形トヨペットの森 ・各店地域貢献活動	≪ハイブリッド基金≫ 県を通じ、NPO法人山形県自動車公益センターに100万円を寄付 ≪グリーンキャンペーン≫ 杉苗木600本、ヘルメット80個を県に寄贈 ≪山形トヨペットの森≫ 山形市みはらしの丘地内0.25haを下草刈り（※業者に依頼して実施） ≪各店地域貢献活動≫ アルミ缶収集活動の売却益で車いすを寄贈	○

環境活動計画

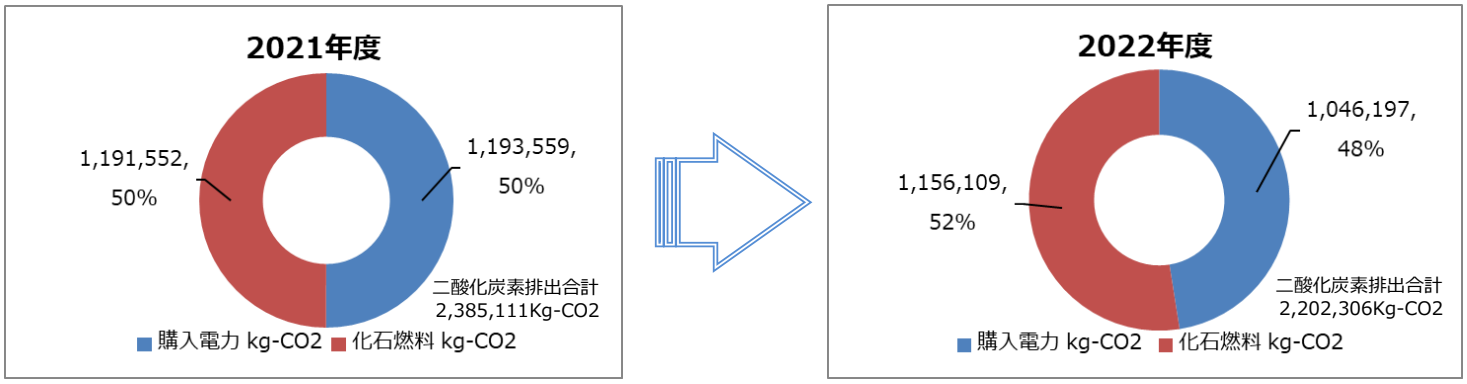
環境目標を達成するため、下記の具体的活動内容を設定し社員一人ひとりが意識的に活動できるよう取り組んできました。拠店毎に『取り組みチェックリスト』を利用した拠店長による自己チェック・EA21環境事務局による『クロスチェック』を実施する事により取り組みに対する現状を再認識し、活動への意識を高めることが最大の目的です。

項目	取組項目	具体的活動内容
二酸化炭素の削減	消費電力の削減	・不用な照明の消灯 ・不用な蛍光灯を外す ・室温管理(暖房期22℃・冷房期26℃) ・定期的にエアコンのフィルターを清掃する ・クールビズの実施（6月～9月) ・PCディスプレイを省エネモードに設定する ・『ノー残業デー』の実施
	ガソリン・軽油使用量の削減	・エコドライブの実践 ・経済速度の遵守 ・タイヤの空気圧を定期的に調整する
	その他化石燃料の削減 (灯油・LPG)	・洗車機の温度調整 ・ロードヒーターの管理(冬期) ・ジェットヒーターの管理(冬期)
廃棄物排出量の削減と適正管理	一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	・分別ルールの確立と周知徹底 ・コピー用紙削減(両面コピー・裏紙の活用) ・コピーカウンターの記録と管理 ・使用済み封筒の再利用 ・社内ポータル活用によるペーパーレス化の推進
	産業廃棄物の適正管理	・保管場所の管理(表示・4Sの徹底) ・マニフェスト・契約書類の管理 ・委託産廃業者の適正処分に関する現地確認 ・油水分離槽の適正管理 ・産業廃棄物の分別を徹底しリサイクル率を上げる
販売関連	エコカーの販売	・ハイブリッド販売台数および販売比率の向上
総排水量の削減	水道使用量の削減	・手洗い時の節水(ポップの掲示) ・洗車時の水の垂れ流し防止 ・水道配管からの漏水チェックを定期的に実施する
	地下水の適正利用	・融雪用の放水の水量調整
グリーン購入	グリーン購入の推進	・事務消耗品のエコ商品購入率の把握 ・設備・機械等購入時のルール確立
山形EA21関連	環境保護団体への協力	・ハイブリッド基金での寄付活動
	会社周辺の清掃活動	・周辺道路の清掃活動、草刈りなどの実施

2022年度評価内容と次年度の取り組み

二酸化炭素排出量 (温室効果ガス排出量)	2022年度の実績は**2,202,306Kg-CO2**で、2021年度実績値（2,385,111Kg-CO2）より減少しております。エネルギー消費量を見ると購入電力は**1,046,197Kwh(前年比-147,362kg)**と大幅に減少し、化石燃料も2022年度の実績値は**1,156,109kg-co2**と、前年比で**－35,443kg-co2と削減する事が出来ました。**ただし、東バイパス店の新築（移設）によるエアコンの消費量増加や、併設されてあるコインランドリーの需要増大により、LPGガスの消費量は大幅に増加しましたが、化石燃料の大半を占めるガソリン、軽油、灯油が減少している事から、全体としては二酸化炭素排出の削減に成功しております。
廃棄物排出量 (総排出量・循環資源量)	産廃・一般廃棄物・再生利用(古紙、金属、廃油、廃バッテリー)を合わせた総排出量は**556,323Kg（前年比９３.１%）**となり、昨年度の総排出量597,556kgより**41,233Kg減少しました。**設定した目標値（612,890Kg）より排出量を抑える事が出来ており、一般廃棄物、産業廃棄物ともに目標設定値をクリアしました。その内再資源化ができる循環資源量は**334,001Kg**で昨年より**608Kg減少しました。**リサイクル率は**60.0%**（前年は55.9%）です。今後も意識して分別をし、リサイクル率を向上させて排出・処分費用を抑えた取り組みを継続していきます。
総排水量 (水使用量)	使用量は**17,682m³**で前年度実績(**18,722m³**)に対し**1,040m³減少**しております。2021年度に漏水と思わしき所の修理を依頼し、問題を解決した結果として水使用量は大分落ち着いてきました。今後も問題個所については即座に対処していきたいと思います。
グリーン購入 (文房具等)	2022年度は全購入金額の30.1%(前年23.5%)で、目標値として設定している30%をクリアしております。**購入金額は1,654,187円**と**前年の1,928,361円**に比べて抑える事が出来ました。今年も総務部内でチェック体制を強化し、文房具用品以外の購入について日々注意喚起を行った成果だと思われますので、今後も続けて参ります。
化学物質等	当社は自動車整備において『塗装』の業務がないため、有機溶剤等の使用はありません。 他の化学物質の使用頻度も低い事から、**次年度以降「化学物質」の項目は削除致します。**
ハイブリッド車販売 (新車)	年度販売台数において新車（除軽）は**3,009台（前年2,959台）**でした。その内新車のハイブリッド車販売は**1,287台**(前年差227台増)でハイブリッド販売比率目標35%に対し**42.8%**と目標設定を大きくクリアしております。これはトヨタ系４チャンネルで全社併売となり、ハイブリット車の種類が以前に比べて増えた事も要因の一つです。今後も販売体制を強化し、環境に配慮した車両を販売して参ります。また、プリウス販売県内№１の記録は１４年連続で達成しております。

◎ 温室効果ガス排出量の推移◎



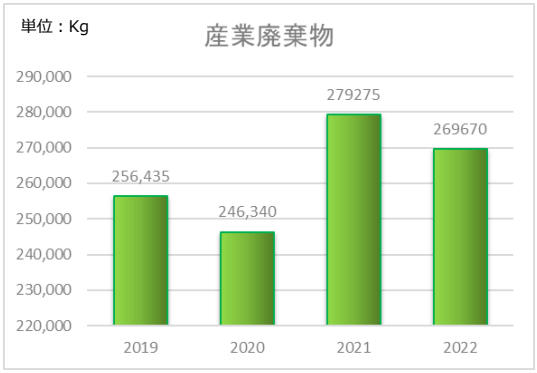
2022年度は前年と比べて全体的にエネルギーの使用量を抑える事が出来ました。（前年比92.3%）
電気代が高騰している事から今まで以上に電気使用量の節約を推進し、経費を少しでも抑える活動が必要だと考えます。

◎産廃物排出量推移(再生利用)

廃棄物排出量の中でも『再生利用』の推移をピックアップしました。2022年度の実績で再生可能な一般廃棄物は前年に比べて5,850kg少なくなっています。再生利用産業廃棄物の方も前年に比べて9,605kg少なくなりました。その中で『廃油』は去年（209,950kg）と比較して750kg増加しました。（廃油の買取業者を変更し、売却益は前年に比べて30万円以上増加しました）今後も分別を意識し、再生利用排出量向上に努めます。

■ 2022年度各項目別排出量

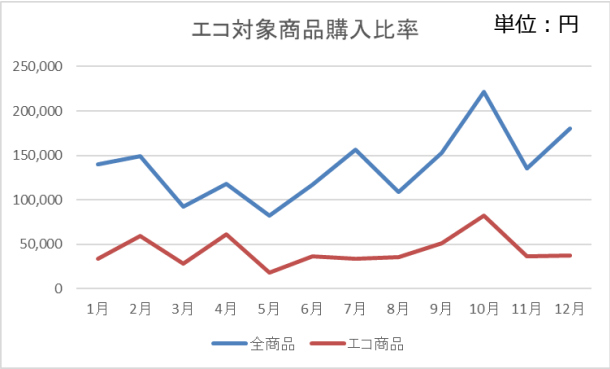
品　　目	再生利用排出量	品　　目	再生利用排出量
古紙・段ボール等	38,200kg	鉄	36,120kg
雑品・非鉄	4,010kg	廃油	210,700kg
廃バッテリー	13,900kg	廃タイヤ（買取分のみ）	4,940kg
一般廃棄物合計	38,200kg	産業廃棄物合計	269,670kg



◎グリーン購入-月別の実績-

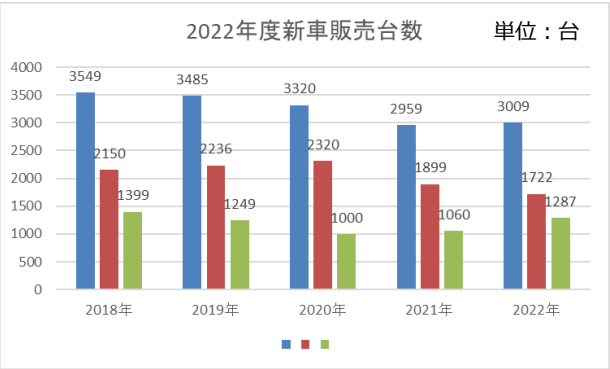
グリーン購入（エコ商品）に関して月別に表わしてみると平均では50,000円程度で推移しております。

また2022年度よりレクサス山形も事務用品の購入方法を『ネットリコー』にしました。なお、目標値である購入比率30%を達成しておりますが、今後も「エコ対象の事務用品購入（グリーン購入）」を意識して取り組んでいきます。



◎新車販売台数の推移-ハイブリッド車販売実績比較-

2022年度のハイブリッド車販売台数は1,287台となり、前年比**227台増**となりました。昨年と同様、ライズ・ハイエース、ルーミーといったガソリン車が全体を牽引していますが、**新型シエンタ、AQUA**のハイブリッド車の販売台数も順調に伸びており、今後も燃費の良さ・環境に優しい事などをお客様へ訴求しハイブリッド比率向上に努めます。



◎ 2022年度 新車月別販売台数およびハイブリッド車比率

車名	台数	車名	台数	車名	台数	車名	台数	車名	台数
AQUA	209	カムリHV	11	ハリアー	68	アルファード	81	プロボックスVN	98
プリウス	88	カローラHV	20	ハリアーHV	91	アルファードHV	39	ハイエースWG	30
ヤリス	58	カローラツーリングHV	45	ライズ	143	ノア	38	ハイエースVN	286
ヤリスHV	102	シエンタ	36	RAV4	45	ノアHV	71	その他	323
ヤリスクロス	46	シエンタHV	105	RAV4HV	37	ヴォクシー	22	その他HV	180
ヤリスクロスHV	135	ルーミー	239	ランクルプラド	117	ヴォクシーHV	54	合計 (内ガソリン車) (内HV車) HV販売比率	3,009台 1,722台 1,287台 42.8%
パッソ	92	C-HR HV	12	ライズHEV	35	クラウンHV	53		

環境関連法規等の遵守状況

当社の事業活動に関連する環境関連法規・条例及びその他の規制を受ける事項を下記に示しています。各事項の法遵守状況を整理した結果、環境関連法規に関する違反等はありませんでした。また、関連機関や地域からの指摘・苦情もありませんでした。

法令の名称		定期用される要求事項	評価
全般	環境基本法	事業活動を行うに当り、環境への負荷の低減、その他の環境の保全に自ら努めるとともに、国または地方公共団体が実施する環境の保全に関する施策への協力	○
大気	フロン排出抑制法	第1種特定製品業務用エアコンの簡易点検の実施 第1種特定製品業務用エアコンの定期点検の実施（7.5Kw以上） カーエアコンの整備に際し適正な回収・運搬・破壊を行う	○
水質	水質汚濁防止法	自動式車両洗浄施設 　特定施設の設置届(門型自動洗車機) 貯油施設・油水分離槽 　事故時の措置(事故の届出と必要な措置)	○
	下水道法	自動式車両洗浄施設 　特定施設の設置届(門型自動洗車機) 貯油施設・油水分離槽 　事故時の措置(事故の届出と必要な措置)	○
	浄化槽法	浄化槽の使用開始届・浄化槽管理者等の変更届 浄化槽の保守点検及び清掃の実施 浄化槽の定期検査(法定検査)の実施	○
	山形県生活環境の保全等に関する条例	特定施設の水質検査の実態 　pH：5.8～8.6 BOD：25mg/ℓ(日平均 20mg/ℓ) 　SS：60mg/ℓ(日平均 50mg/ℓ) 　ノルマルヘキサン抽出物(鉱物油) 5mg/ℓ	○
騒音・振動	騒音規制法 振動規制法	コンプレッサー 　特定施設の設置届 　　※山形県生活環境保全に関する条例	○
廃棄物	廃棄物処理法	廃棄物の適正処理 一般廃棄物の適正処理 産業廃棄物の適正処理 産業廃棄物の保管基準の遵守・処理基準の遵守 　(表示：60cm角以上、衛生管理等) 産業廃棄物の委託基準の遵守 　(許可業者と委託契約書の締結、保管等) 産業廃棄物委託先の処理状況の確認と必要な措置 産業廃棄物のマニフェスト交付規定の遵守・保管等の規定の遵守 産業廃棄物のマニフェスト交付状況の報告	○
再資源化	自動車リサイクル法	自動車所有者の使用済み自動車の引き渡し義務 使用済自動車の引取業者の引取義務 使用済自動車の引取業者の引き渡し義務	○
その他	消防法	指定数量未満の危険物及び指定可燃物の貯蔵・取扱事業者 　・指定数量未満の場合 　　各市町の火災予防条例が定める技術上の基準を遵守 　・少量危険物の場合 　　各市町の火災予防条例が定める技術上の基準を遵守し、 　　定められた届出が必要 規定に基づく施行令で規定 　　屋内消火栓の設置(工場700m²以上) 　　火災報知器の設置(工場500m²以上、店舗300m²以上)	○
	労働安全衛生法	危害防止基準の確立、責任体制の明確化及び自主的活動の促進の措置 (リスクアシスメント)	○
	トヨタ販売店CSRガイドライン	CSRガイドラインに則り環境に関する問題点の洗い出しを行い、 監査マニュアルに沿って監査を行う	○
都道府県等の条例	廃棄物の適正な処理の推進に関する条例(県・市)	廃棄物の適正な処理(適正な産業廃棄物業者との契約)	○
	地方火災予防条例	・該当する危険物を指定数量の5分の1以上、指定数量未満の数量を貯蔵 ・取扱う場所等の届出及び掲示	○

※違反・訴訟等

特になし

環境コミュニケーション-2022年度の取り組み-

環境コミュニケーションとして「ハイブリッド基金」や「ふれあいグリーンキャンペーン」など様々な活動を行ってきました。昨年に引き続き「アルミ缶収集による車イス寄贈」「献血活動」も継続して取り組み『**地域のお役に立つ会社**』を目指し活動していきます。

■ハイブリッド基金

ハイブリッド基金は、環境・福祉など、山形のためにお役に立ちたいという思いから、県内自動車業界に先駆け平成19年よりスタートしました。ハイブリッドカーをご成約いただくごとに基金を積み立て、地域の環境・福祉に役立てています。
創立60周年を機に「やまがた絆の森（ハイブリッド基金の山形トヨペットの森)」などの新たな取組みもスタートし、今後も「クルマがつなぐ優しいキモチ」をスローガンに地域社会へ貢献し、「ホスピタリティ」の輪を大きく広げていきます。

※当社ホームページより抜粋

■第47回ふれあいグリーンキャンペーン

グリーンキャンペーン

平成28年	山形県 ・ソメイヨシノ 50本　・緑化作業用ヘルメット 30個 ガクアジサイ 10本　緑化活動用草刈鎌 10個 ユキヤナギ 10本
平成29年	山形県 ・ソメイヨシノ 60本 ・緑化活動用ヘルメット 68個
平成30年	山形県 ・ソメイヨシノ 20本　・緑化活動用ヘルメット 80個 アジサイ 20本 コデマリ 20本
令和元年	山形県 ・ソメイヨシノ 20本　・緑化活動用ヘルメット 80個 モッコウバラ 20本 サルスベリ 20本
令和4年	山形県（金山町） ・杉苗木 600本 ・緑化活動用ヘルメット 80個

※令和2、３年度はコロナ禍にある為中止しました。

※当社ホームページより抜粋

10月19日発行

総務部NEWS

【アルミ缶収集で社会貢献を！】

山辺町にある介護保険施設
「メルヘン」

今回は特販部担当の・・・
医療法人社団 悠愛会（メルヘン）様
に車椅子を一台寄贈致しました。

鈴木社長と、大島事務局長さま

社員の皆さんで集めたアルミ缶で
寄贈した車椅子がこちらです！

大島事務局長さまのお話の中で「限られた資源を有効活用していく事が大事なんだと思います。大変ありがとうございました。」との事で、車椅子の贈呈に喜んでいらっしゃいました。

今後もアルミ缶収集は継続して参りますので、
社員の皆さんでご協力をお願いします。

10月26日発行

総務部NEWS

【アルミ缶収集で社会貢献を！】

南陽市にある特別養護施設
「こぶし荘」

今回は南陽店担当の
社会福祉法人 南陽恵和会（こぶし荘）様
に車椅子を寄贈致しました。

鈴木社長と、濱田施設長さま

寄贈した車椅子は「軽く」
て「ストッパーが使い易い」
と好評でした

社員の皆様で収集したアルミ缶が新品の車椅子となり、
今回は「赤チェック柄」の車椅子を贈呈出来ました！

こぶし荘では116名の入居者が居て、その内の大半が車椅子を
利用しているとの事でした。早速入居者の方に乗って頂き、
新しい車椅子に喜んでおりました。

今後もアルミ缶収集は継続して参りますので、
社員の皆さんでご協力をお願いします。

3年ぶりの開催

山形トヨペット&レクサス山形Presents
山形交響楽団GREEN CONCERT

グリーンコンサートを開催するにあたり、総務部・車両部を中心に事前に打ち合わせ等を行い、
本番に臨みました！今回はそんな裏側のご紹介！！

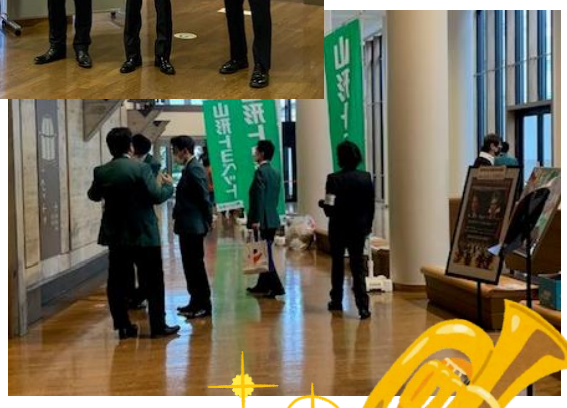
社内打ち合わせ

MCの西濱さんと鈴木社長

指揮者粟辻さんと鈴木社長

山響さんとの打ち合わせ

～ 11/23　酒田市民会館　希望ホール ～



～ 12/11　やまがた県民ホール ～

代表者による全体評価と見直し

2022年度の取り組み実績を検証し、代表者による全体の評価と見直しを行いました。
2022年度は以下の4項目で行いました。

1.環境経営システムが有効に機能しているか

エコアクション21認証を取得後6年が経過しております。2022年度は拠店間でのクロスチェックを行うなどエコアクションに対する意識付けの強化を図りましたが、まだ改善点は多いと感じます。今後もより一層の周知に努め、環境活動への意識啓発に努めて参ります。

2.環境への取組みは適切に実施されているか

2022年度は各項目において指摘・関連法規に関する違反はありませんでした。
油水分離槽のチェック、廃油タンクのメンテナンス（ヒアリング含む）など環境汚染のリスクが高い箇所については事務局によるチェック回数を増やし、油流出事故などを未然に防ぐ取り組みが必要です。また、万が一の際すぐ対応できるよう緊急事態訓練を実施していきます。

3.各項目の見直し

項目		変更の主旨
1)環境経営方針	継続	昨年度と同じ
2)環境経営目標	継続	昨年度と同じ
3)環境活動計画	継続	昨年度と同じ
4)環境経営システム	継続	変更の必要なし。 EA21ガイドラインに沿って取組みを継続します。

4.環境管理責任者・環境事務局への指示

2022年度は事務局で定期的に拠店訪問を行い、現場で働く社員一人ひとりに環境への意識を定着させる必要がある。エコアクションの取組み目的を周知し、社内の理解を深める活動を実施する。また日々の清掃は元より、４Sを中心とした身の回りの整理整頓が自発的に行えるよう周知徹底させる。同時に拠店間でのクロスチェック、コンプライアンスミーティングを行う事で、拠店毎の格差を縮めるボトムアップの取組みを並行して行う事を今後も続ける。

中期計画に基づいた
2023年度の環境経営目標と環境経営計画

2021年環境負荷実績を基準として**2023年度は4%削減**することを目標とします。
中期目標としては2021年環境負荷実績を基準に2024年度目標を5%削減する事とします。

■環境経営目標

環境目標項目	基準年数値（2021年度）	中長期目標（３年）			今年度数値目標
		2022年度目標（R4.4～R5.3）	2023年度目標（R5.4～R6.3）	2024年度目標（R6.4～R7.3）	取組期間（R5/4～R6/3月）
二酸化炭素排出量	2,385,111 Kg-CO2/年	2021年度(4月～3月)比2%削減	2021年度(4月～3月)比4%削減	2021年度(4月～3月)比5%削減	2,289,707 kg-co2/年
廃棄物排出量	597,556 Kg/年	2021年度(4月～3月)比2%削減	2021年度(4月～3月)比4%削減	2021年度(4月～3月)比5%削減	573,654 kg/年
水使用量	18,722 ㎥/年	2021年度(4月～3月)比2%削減	2021年度(4月～3月)比4%削減	2021年度(4月～3月)比5%削減	17,973 ㎥/年

■具体的な環境負荷削減数値目標と重点活動内容

環境目標項目	2021年度の排出量の実績	2023年度の目標値（ ）は具体的削減数値	2023年度 重点活動内容
購入電力（Kg-CO2）「電力の排出係数：0.523 kg-CO2/kWh」	1,193,559 Kg-CO2/年	1,145,817 kg-co2/年 ▲47,742 kg-co2	・店舗照明のLED化の促進 ・夏季・冬季のエアコン温度設定管理 ・毎週木曜日「ノー残業デー」の徹底
LPG使用量（Kg-CO2）	20,979 Kg-CO2/年	20,140 kg-co2/年 ▲839 kg-co2	・GHPの適正な運用(特に東BP)
ガソリン使用量（Kg-CO2）	925,081 Kg-CO2/年	888,078 kg-co2/年 ▲37,003 kg-co2	・エコドライブの実践 ・納車時のガソリン給油量
軽油使用量（Kg-CO2）	118,058 Kg-CO2/年	113,336 kg-co2/年 ▲4,722 kg-co2	・納車時の軽油給油量
灯油使用量（Kg-CO2）	127,434 Kg-CO2/年	122,337 kg-co2/年 ▲5,097 kg-co2	・冬期間使用時の温度管理の徹底 ・拠店駐車場ロードヒーターの管理
一般廃棄物排出量（kg）	66,622 Kg/年	63,957 kg/年 ▲2,665 kg	・ペーパーレス化の推進 ・資料の作成部数を最低限にする
産業廃棄物排出量（kg）	530,934 Kg/年	509,697 kg/年 ▲21,237 kg	・産廃保管場所の確保と整備 ・油水分離槽の適正管理 ・分別の徹底によるリサイクル率の向上
水使用量（m³）	18,722 ㎥/年	17,973 ㎥/年 ▲749 ㎥	・ポップ掲示による節水の意識付け ・水道メーター検針による使用量の把握

■環境活動目標と重点活動内容

環境目標項目	中長期目標（3年）	2023年度目標値	重点活動内容
グリーン購入の推進	事務用品購入金額の30%	事務用品購入金額の34%	EA21事務局によるグリーン購入対象商品の推奨
HEV、BEV車の販売比率	35%	39%	プリウス県内販売15年連続No.1の獲得
地域環境保全活動	・ハイブリッド基金 ・グリーンキャンペーン ・山形トヨペットの森 ・アルミ缶回収(車いす贈呈) ・各店地域貢献活動	・ハイブリッド基金 ・グリーンキャンペーン ・山形トヨペットの森 ・アルミ缶回収(車いす贈呈) ・各店地域貢献活動	≪ハイブリッド基金≫ 県を通じ、NPO法人山形県自動車公益センターに100万円を寄付 ≪グリーンキャンペーン≫ 県に杉苗木1,440本（花粉量の少ない苗） ≪山形トヨペットの森≫ 山形市みはらしの丘地内0.25haを下草刈り(業者に依頼して実施予定) ≪各店地域貢献活動≫ 車いす寄贈

本レポートについての問い合わせ先

山形トヨペット株式会社
エコアクション２１　環境事務局
〒990-9588
山形県山形市飯田西五丁目5番2号
TEL：023-634-7501　FAX：023-641-8694
URL　http://yamagata-toyopet.jp/

ハイブリッド基金の
山形トヨペット